

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	三次市立八次小学校	校長氏名	名越 達朗	生徒指導主事氏名	末丸 千早
-----	-----------	------	-------	----------	-------

取組事例名 『野外活動』

取組のねらい『キーワード 自主・協力・感謝』

- ・集団行動を通して、集団の一員としての自主・協力の態度を育てる。
- ・寝食を共にすることにより、お互いの心のつながりを深め、助け合いを通して感謝の感情を育む。

取組の具体的内容『キーワード 生徒指導の三機能』

○グループ活動

- ・オリエンテーション (自己決定)
- ・沢登り (自己存在感) (共感的人間関係)
- ・夕食準備 夕食 片付け (自己存在感) (共感的人間関係)
- ・キャンプファイヤー (自己存在感) (共感的人間関係)
- ・カヌー体験 (自己存在感) (共感的人間関係)



沢登りのスタート



急な岩場も登ります。



滝壺がゴール



作業分担して夕食づくり



カレーとサラダの完成



キャンプファイヤーのスタンツ



カヌーに乗る前の準備・練習が大切



ドキドキのチャレンジ



あっという間に上達

取組の課題・創意工夫『キーワード 体験活動による自己指導能力の育成』

- 事前指導…グループの目標を設定し、一人一人が目標を自覚しながら、自ら働きかける意欲づくり
道徳の時間「遠足の子ども達 1ー③」
学級会 「グループ・ワーク・トレーニング」
学級会 目標設定・役割分担・スタンス準備
- 自主的・自発的な体験活動（夕食作り・キャンプファイヤースタンス）
児童自らが計画を立てて役割分担をし、お互いを尊重し合う中で信頼関係を高め、人間関係を深めることができる活動内容を仕組む。
- アドベンチャー体験活動（沢登り・カヌー）
冒険的要素を備えた活動を取り入れ、挑戦の意欲や連帯感の中での達成感を高める。

取組の成果（効果）『キーワード 豊かな人間関係と自己指導能力』

- 事前指導
野外活動の間、常に目標を意識させ、自己評価・グループでの評価をしながら取り組ませることができた。自分たちで決めた目標を達成させることによって（自己決定）、目標達成の喜びを味わわせることができた。
- 自主的・自発的な体験活動
 - ・一人一人が役割を分担し協力して取り組むことによって、「自己存在感」を感じることができた。
 - ・協力しながら目標を達成していく活動を繰り返すことにより、集団の一員として活動する楽しさを味わい、児童相互の「共感的人間関係」が育った。
- アドベンチャー体験活動
 - ・冒険的な活動を取り入れ、協力して目標を成し遂げることによって、他者を認める思いやりの心を持つことができた。

今後の展開『キーワード つながり、広がり、校風へ』

- 総合的な学習の時間「保育所交流」・・・グループでの保育所での活動の企画・実践へつなげていく。
- 「鼓笛」・・・本校の伝統となっている鼓笛を引き継ぎ、5年生の協力でメロディーを作り上げることによって、伝統を受け継いでいく。



運動会の鼓笛



交通安全パレード

他校へのアドバイス『キーワード 待つ姿勢』

- 児童の自己指導能力を育成するためには、指導者の「待つ」という姿勢が重要